

(参考資料) JETI JES シリーズ

ブラシモーター用 Li-Po 対応スピードコントローラー

(本記載内容は権利リトルベランカの著作物であるため、許可無く転載不可)

Jeti JES シリーズは、工場出荷時から Li-Po に対応したコントローラーで、難しいプログラミングなど行う必要がなくジャンパーピンを挿すだけでバッテリーの選択およびブレーキのオン・オフがセットできます。目で見てわかるのではじめての方にも非常に扱いやすく出来上がっています。なおセル数なども自動認識しますので、Li-Po の場合にも安心です。

JETI JESシリーズの使用法

- (1) コントローラーから出ている黄色のケーブルの極性を間違えないようにモーターに接続します。直接ハンダまたはコネクタを取り付けて接続します。
- (2) コントローラーから出ている黒 (－) と赤 (＋) のコードにバッテリーと同じコネクタをハンダ付けします。
- (3) バッテリーの種類、ブレーキのオン・オフの選択をしてコントローラー右サイドにある 5 本のピンのうち、隣り合う 2 本に小さな黒いジャンパーピンを差し込みます。ラベルに貼られている 4 つのモードは 5 本のピンとピンの間を指しています。
 - ・ モード 1: Li-Po かつブレーキオフ
 - ・ モード 2: Li-Po かつブレーキオン
 - ・ モード 3: Ni-Cd, Ni-MH かつブレーキオフ
 - ・ モード 4: Ni-Cd, Ni-MH かつブレーキオン

念のためプロペラをはずした状態で設定を開始してください。

- (4) 送信機のスロットル(またはギアチャネル)がノーマル、そしてトラベルアジャストが 100%/100%になっていることを確認してください。フタバはスロットルをリバースにセットしてください。
- (5) スロットル(またはギアスイッチなど)を最スロー(またはオフ)にします。
- (6) 送信機のスイッチをオンにします。
- (7) コントローラーにバッテリーを接続します。
- (8) コントローラーのスイッチをオンにします。(JES006 はスイッチがありませんので、バッテリーを接続すると同時に自動的にオンになります。)
- (9) ビープ音が一回します。
- (10) スロットルを少しずつ上げていきます。モーターが回り始めるはずですが。(必ずスロットルを上げてください)
- (11) これでセットは完了です。

毎回飛ばすときには(5)からはじめます。

(9) でビープ音がしなかったり、ビープ音がした後そのままにしていたために連続警告音などが出た場合にもあわてないでください。コントローラーのスイッチを切り、バッテリーをはずし、送信機のスイッチを切ります。10 秒ほどたってまた(4)のステップからセットを開始してください。急ぐあまりコントローラーのスイッチを送信機より先にオンにしたりするとビープ音がならなかったりしますので、再度落ち着いて確実に(4)から始めてください。

注意事項

- (1) 事故防止及びバッテリーの消耗を防ぐため、バッテリーは飛行直前に接続し、また飛行後は速やかにバッテリーははずしてください。
- (2) バッテリーをはずす場合やフライト終了後は、まずコントローラーのスイッチを切り、それからバッテリーをはずし、最後に送信機のスイッチを切ってください。この順番を間違えないように十分注意を払ってください。
- (3) BEC の場合、コントローラーのスイッチを切ったからといってバッテリーからの電流を完全に遮断したという事にはなりません。コントローラーの種類や形式あるいは個体差によっても違いますがコントローラーにバッテリーが接続されている限り常に微弱電流が流れています。従いまして必要なとき以外はバッテリーをコントローラーからはずしてください。特にリチウムポリマーバッテリーを長期間接続したままにしておくと微弱電流が流れ続け、リチウムポリマーバッテリーが損傷または再起不能となる恐れがありますので飛行後は絶対にはずして置ってください。